

公益財団法人平野政吉美術財団
平成25年度事業報告

旧秋田県立美術館

平成25年4月1日～6月30日

I 展示公開事業

(1) 常設展

藤田嗣治素描	《秋田の行事の素描》15点 《北京での素描》 《メキシコでの素描》 《女》 《Y夫人の肖像》
西洋絵画等	ペルークスコ派の宗教画 5点 ゴヤ《闘牛技》30点 リオス《水を汲む少女》 リヒテル《トルコの後宮》等26点
写真	藤田嗣治と平野政吉に関連する写真

(2) 企画展

企画展	藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢 —ファイナル平野政吉美術館—	入場者数	5,680人
会期	平成25年4月5日(金)～6月30日(日)		
会場	大展示室、小展示室		
昭和42年5月、秋田県立美術館が開館。藤田嗣治と平野政吉の二人の長年の想いが結実した美術館であった。2・3階の平野コレクションを展観するスペースは46年間、平野政吉美術館として親しまれ、100万人ほどが訪れた。閉館にあたり、平野政吉美術館の歴史を資料と写真で辿り、1930年代の藤田作品を、平野とのエピソードを紹介しながら時系列で展観した。平野政吉美術館最後の企画展に、この美術館を惜しむ方々が大勢訪れ、藤田と平野の歴史を辿りながら、二人の想いが融和する空間に別れを告げた。			

II 教育普及事業

(1) 講演会

企画展関連事業	「今、平野政吉美術館をふりかえる」	参加者数	84人
実施日	平成25年5月11日(土)		
会場	大展示室		
講師	東京文化財研究所 企画情報部 山梨絵美子氏		
秋田市出身で平野政吉とも交流のあった山梨氏が、日本の美術館の歴史の中での平野政吉美術館の位置、また日本近代洋画史における《秋田の行事》の位置付けについて、豊富な画像と資料を紹介しながら、わかりやすく講演した。			

(2) コンサート

企画展関連事業	聖霊高校ハンドベル部による さよならコンサート「藤田嗣治の祈り」	参加者数	102人
実施日	平成25年5月25日(土)		
会場	大展示室		
演奏者	聖霊高校ハンドベル部		
平野政吉美術館の歴史は、昭和11年に藤田嗣治の妻・マドレーヌの鎮魂のために構想された美術館建設に遡ることができる。祈りの空間・礼拝堂を思わせる大展示室に、教会の鐘から発展したハンドベルが、まさに祈りそのものとして響き渡り、平野政吉美術館への惜別の想いが溢れるコンサートであった。			

(3) 朗読会

企画展関連事業	「藤田嗣治を読む」	参加者数	156人
実施日	平成25年6月21日(金)、6月22日(土)		
会場	大展示室		
出演者	劇団 蒼い鷹 シアター・ル・フォコンブル		
大展示室を光と音楽が織りなす劇場空間に仕立て、時系列に展示された1930年代の藤田作品に関わる随筆を朗読した。『随筆集 地を泳ぐ』に収められた旅の感興、日本滞在時の生活などを記した文章を、劇団員が読み上げると、作品世界が広がるような臨場感に包まれた。			

(4) ギャラリートーク

企画展関連事業	藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢 —ファイナル平野政吉美術館—	参加者数	215人
実施日	平成25年4月6日(土)、4月20日(土)、5月4日(土) 5月18日(土)、6月毎週土曜日		
講師	学芸員		
会場	大展示室、小展示室		
常設展関連事業	定例ギャラリートーク 壁画「秋田の行事」を読み解く	参加者数	96人
実施日	4月から6月の第1土曜日、6月30日(日)		
講師	学芸員		
会場	大展示室		

(5) セカンドスクール (幼稚園・小学校・中学校・高校) 4校 352人

(6) 大学・短大の来館 5校 228人

（1）事業内容

- ① 絵画、デザイン、彫刻、書道、華道、写真、児童・生徒作品等を展示する団体及び個人に対して美術ホール利用受付業務、展示作業指導を行った。
- ② 美術ホールと展示室の一体的な利用を促進した。
 - ・児童・生徒のセカンドスクールや職場体験学習の一環として、美術ホール展示作業体験を実施した。
 - ・国際教養大学は授業の一環として、美術ホールの「華道展」と展示室の藤田嗣治作品の同時鑑賞を行った。

（2）実績

使用団体数	30団体
使用日数	115日
入場者数	19,194人

Ⅳ売店事業

来館者へのサービスの一環として、鑑賞をより豊かなものにするため、旧秋田県立美術館において、ミュージアムショップを運営。インターネットでの販売も展開した。

旧秋田県立美術館 4月1日から 6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップで直接販売。 ・6月30日の閉館にともなって、直接販売は終了。 ・インターネットで《秋田の行事》額絵を販売。
7月1日以降	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでの《秋田の行事》額絵の販売は継続。

I 展示公開事業

(1) 特別展

開館記念特別展	壁画《秋田の行事》からのメッセージ －藤田嗣治の1930年代－	入場者数	40,020人
会 期	平成25年9月28日（土）～11月10日（日）		
会 場	ギャラリー1・2、藤田嗣治大壁画ギャラリー、県民ギャラリー、		
<p>新美術館の開館を記念するこの展覧会では、壁画《秋田の行事》を多角的に分析した成果をわかりやすく解説し、1930年代の藤田作品を展観した。《秋田の行事》と《大地》の同時展示により、壁画の変遷を確認し、藤田の画業における《秋田の行事》の位置を浮かび上がらせた。また、幻となった戦前の美術館構想、制作現場となった米蔵の復元模型、平野家資料等を展示し、藤田と平野政吉の関係や壁画制作の経過を明らかにした。また、壁画に描かれた秋田の風俗を実資料で展観し、藤田の秋田へのまなざしを確認した。さらに、藤田の絵画技法が乳白色から多彩な色彩へと変容する1930年代の作品群について、科学調査の成果を紹介した。全国から来館者が押し寄せ、展示室は毎日盛況であった。</p>			

特別展	藤田嗣治渡仏100周年記念 「レオナール・フジタとパリ 1913－1931」	入場者数	17,933人
会 期	平成25年12月7日（土）～平成26年2月2日（日）		
会 場	ギャラリー1・2、藤田嗣治大壁画ギャラリー		
<p>藤田の渡仏100年を記念するこの展覧会では、藤田がパリで独自の画風を模索し、その後、乳白色の裸婦像や上流階級の肖像画でパリ画壇の地位を不動のものにしてゆく1910年から1920年代の作品群を中心に展観した。フランスおよび日本各地の所蔵者から出品していただいた貴重な作品で構成した展覧会であった。当時のパリは、世界各国から画家、詩人、音楽家などが集まる芸術潮流の中心地であり、藤田と交流のあったパスキン、キスリング、ローランサンら同時代の芸術家たちの作品も紹介した。藤田の画業の初期に焦点を当てた企画としては国内初めての巡回展であり、藤田の黄金期の作品がまとまって鑑賞できるということで、県内外から好評を博した。</p>			

(2) 常設展

常設展	平野政吉コレクションを中心に		入場者数	9,036人
	藤田嗣治の女性像	会場	ギャラリー1	
	写真でたどる 藤田嗣治と平野政吉	会場	ギャラリー2	
	藤田嗣治の旅 ～中南米・中国・日本～	会場	藤田嗣治 大壁画ギャラリー	
会 期	平成25年11月14日(木)～12月4日(水)			
<p>「女性」、「旅」、「藤田と平野の交流」というテーマをもとに、主に平野政吉コレクションの中から藤田作品と資料の展示を行った。《眠れる女》、《五人女》などの代表作に素描をあわせた女性像の展観と、中南米と日本を画題とした作品の展観、藤田と平野の写真の展示の3部構成とした。平野政吉コレクションの中心となる作品群を堪能していただいた。</p>				

常設展	藤田嗣治のまなざし ～画室・裸婦・旅～	入場者数	8,529人
会 期	平成26年2月6日(木)～3月23日(日)		
会 場	藤田嗣治大壁画ギャラリー		
<p>平野政吉コレクションの中から、中南米歴訪から日本滞在、中国旅行に関わる藤田作品を紹介した。</p>			

II 教育普及事業

(1) 講演会

開館記念特別展 関連事業	「藤田嗣治と壁画 —群像大作への夢—」	参加者数	44人
実施日	平成25年10月13日(日)		
会 場	レクチャールーム		
講 師	美術史家・北海道文学館学芸主幹 佐藤幸宏氏		
<p>開館記念特別展の総合監修者・佐藤氏が、藤田の画業の初期・1920年代から晩年の1960年代まで、生涯にわたる壁画への挑戦の軌跡を、豊富な画像を紹介しながら、わかりやすく講演した。時代状況や社会的な背景とともに藤田の内面や志を深く掘り下げた内容が好評であった。</p>			

特別展「レオナール・フジタとパリ」関連事業	「エコール・ド・パリと藤田嗣治」	参加者数	45人
実施日	平成25年12月14日(土)		
会場	レクチャールーム		
講師	国際教養大学助教 阿部邦子氏		
日本人画家として唯一成功を収めた藤田はどのようにオリジナリティを獲得していったのか。パリでの交友からの刺激や影響、巨匠の作品への探求心を分析しながら、藤田の魅力を紐解いた。講師独自の視点が明確に打ち出された内容が、好評であった。			

特別展「レオナール・フジタとパリ」関連事業	「藤田嗣治 パリの異邦人」	参加者数	110人
実施日	平成26年1月19日(日)		
会場	カレッジプラザ講堂		
講師	NHK エデュケーショナル 近藤史人氏		
『藤田嗣治「異邦人」の生涯』の著者が、写真、番組映像、作品画像を紹介しながら、藤田の生涯を辿った。藤田の晩年の肉声も披露され、わかりやすい内容が好評であった。			

(2) シンポジウム

開館記念特別展 関連事業	「《秋田の行事》とその時代」	参加者数	58人
実施日	平成25年11月3日(日)		
会場	カレッジプラザ講堂		
発表者	美術史家・北海道文学館学芸主幹 佐藤幸宏氏 東北芸術工科大学教授 森直義氏 秋田県立大学准教授 込山敦司氏 公益財団法人平野政吉美術財団 学芸係長 原田久美子		
開館記念特別展の監修者、企画協力者、担当者が、それぞれの研究成果を持ち寄って討議。《秋田の行事》に多角的にアプローチし、藤田の画業における1930年代を検証した。佐藤氏は美術史の視点で壁画の表象の転換について、森氏は絵画技法の調査分析結果を披露、込山氏は壁画制作現場の米蔵と幻の藤田美術館の再現を紹介し、原田は藤田と万国博覧会の関わりについて報告した。最新の研究成果が参加者の興味を引き、好評であった。			

(3) コンサート

特別展「レオナール・フジタとパリ」 関連事業	ミュージアムコンサート 「パリが愛したジャズの薫り」	参加者数	100人
実施日	平成26年1月11日(土)		
会場	ミュージアムラウンジ		
演奏者	早川泰子 山下弘治		
ピアニスト早川氏とベースの山下氏のデュオで、パリちなんだ曲を中心に演奏会が行われた。ラウンジで演奏者を聴衆が囲み、「パリの午後」「パリのアメリカ人～パリの大通りで～」などの曲目に酔いしれた。			

(4) ギャラリートーク

開館記念特別展 関連事業	壁画《秋田の行事》からのメッセージ ー藤田嗣治の1930年代ー	参加者数	763人
実施日	平成25年9月28日(土)、9月29日(日)、10月5日(土)、 10月6日(日)、10月12日(土)、10月19日(土)、10月20日(日)、 10月26日(土)、10月27日(日)、11月2日(土)、 11月9日(土)、11月10日(日)		
講師	学芸員		
会場	ギャラリー1・2、藤田嗣治大壁画ギャラリー、県民ギャラリー		
特別展関連事業	レオナルド・フジタとパリ 1913-1931	参加者数	146人
実施日	平成25年12月7日(土)、12月21日(土)、 平成26年1月18日(土)		
講師	学芸員		
会場	藤田嗣治大壁画ギャラリー		
常設展関連事業	壁画「秋田の行事」を読み解く	参加者数	45人
実施日	3月2日(日)		
講師	学芸員		
会場	藤田嗣治大壁画ギャラリー		

(5) 美術館教室

常設展関連事業	つくって遊ぼうジグソーパズル	参加者数	8人
実施日	平成26年3月22日(土)		
会場	レクチャールーム		
講師	学芸員		
最初に《秋田の行事》について解説。その後、《秋田の行事》のジグソーパズルを制作した。カッターでピースを切り抜き、完成したパズルで遊んだ。壁画の内容を理解した上でピースをはめ込むので、位置を特定しやすかったとの感想が寄せられた。			

(6) 講習会

美術館サポーター講習会		参加者数	96人
開催日	平成25年9月27日(土)、11月20日(水)		
会場	ギャラリー1・2、藤田嗣治大壁画ギャラリー、県民ギャラリー		
講師	事務局長		
秋田県立美術館の開館にあたって、地域の施設および商店主を対象としたギャラリートークを実施。大勢の参加者が熱心に耳を傾けた。			

(7) セカンドスクール (幼稚園・小学校・中学校・高校) 49校 1,837人

(8) 大学・短大の来館 6校 269人

Ⅲ 調査研究事業

《秋田の行事》をはじめとする藤田嗣治の作品を調査研究し、その成果を『壁画《秋田の行事》からのメッセージー藤田嗣治の1930年代ー』図録に発表した。

Ⅳ 美術ホール運営事業（貸しホール事業）

（1）事業内容

- ① 県主催事業等の使用に対し、展示構成を確認、展示作業監視を行った。
- ② 開館記念特別展「壁画《秋田の行事》からのメッセージー藤田嗣治の1930年代ー」の第Ⅰ章「藤田嗣治と平野政吉」の会場として、アトリエとなった米蔵模型や平野家資料、民俗資料を展示した。

（2）実績

使用団体	5団体	・開館記念特別展 ・あっぱれ北斎！光の王国展 ・村山留里子展「果てしなく近い樂園」 ・シルクロードの記憶展 ・角川・大映映画展（準備のみ）
使用日数	185日	
入場者数	19,878人	（開館記念特別展を除く）

Ⅴ 誘客事業

アニバーサリーは美術館で	
実施日	随時
会場	ギャラリー1・2、藤田嗣治大壁画ギャラリー、
内容	誕生日や結婚記念日に来館した人に用紙に記入してもらい、プレゼントを郵送した。好評で、記入者は漸増している。

Ⅵ 売店事業

来館者へのサービスの一環として、鑑賞をより豊かなものにするため、新秋田県立美術館において、業者への委託販売とインターネットでの販売を展開した。

新秋田県立美術館 9月28日から 3月31日	・インターネットでの《秋田の行事》額絵販売。 ・新秋田県立美術館ミュージアムショップ運営業者・光風舎へ委託販売。
------------------------------	---

※事業の詳細は、付属明細書のとおり

「藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢」展 展示公開事業

2階 小展示室



2階 大展示室



「藤田嗣治の祈り 平野政吉の夢」展 教育普及事業



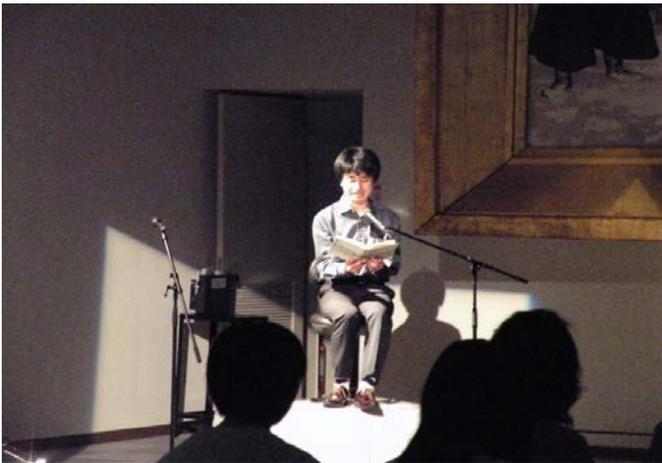
講演会

「今、平野政吉美術館をふりかえる」



さよならコンサート

「藤田嗣治の祈り」



朗読会

「藤田嗣治を読む」





ギャラリートーク



企画展ギャラリートーク



秋田県立美術館開館記念特別展

「壁画《秋田の行事》からのメッセージー藤田嗣治の1930年代ー」展示公開事業



1階 県民ギャラリー



1階 県民ギャラリー



2階 藤田嗣治大壁画ギャラリー



2階 藤田嗣治大壁画ギャラリー



2階 藤田嗣治大壁画ギャラリー



3階 ギャラリー1



3階 ギャラリー2

秋田県立美術館開館記念特別展

「壁画《秋田の行事》からのメッセージー藤田嗣治の1930年代ー」教育普及事業



講演会 藤田嗣治と壁画ー群像大作への夢



シンポジウム 《秋田の行事》とその時代



ギャラリートーク



セカンドスクール

「レオナルド・フジタとパリ 1913-1931」展 展示公開事業



2階 藤田嗣治大壁画ギャラリー



2階 藤田嗣治大壁画ギャラリー



3階 ギャラリー1



3階 ギャラリー2

「レオナルド・フジタとパリ 1913-1931」展 教育普及事業



講演会1
「エコール・ド・パリと藤田嗣治」



講演会2
「藤田嗣治 パリの異邦人」



ミュージアムコンサート
「パリが愛したジャズの薫り」



ギャラリートーク

教育普及事業 美術館教室「つくってあそぼうジグソーパズル」

